

★④ サバイバルゲーム・ルールブック

1. 身体を守るための安全ルール

① 保護具の着用規定(失明・歯の破損・怪我の防止)

BB 弾は眼球への直撃や跳弾でも容易に失明を引き起こすため、エリアに応じた保護具着用を厳格に義務付けます。

- ゴーグル(失明防止):屋外アクティビティエリア内(試射・見学含む)では、サバイバルゲーム専用ゴーグル(レンズタイプ)を常時着用してください。※メッシュタイプは破片が目傷つけるため使用禁止です。
- マスク・グローブ(顔面・歯・手の保護):ゲーム参加時は、被弾による歯の欠損や顔面の出血を防ぐため「口元を覆うマスク」が必須です。また、爪や指の怪我を防ぐため「グローブ」もセットで着用してください。
- 見学者・足場利用者:飛び込み弾や跳弾による失明を防ぐため、足場等からの見学時もゴーグル着用が必須です。

② 屋外アクティビティエリア外での機材管理(暴発事故の防止)

屋外アクティビティエリア外は全員が防具を外す「安全区域」です。

1 発の暴発が失明事故につながるため、エリア退出時は境界線を越える前に【安全確保三原則】を必ず行ってください。

- (1)マガジンオフ(マガジンを抜き本体から外す)
- (2)残弾排出・弾抜き(人のいない安全な方向へ 2～3 発空撃ちし内部の弾を排出する)
- (3)セーフティロック(安全装置を ON にする)
- 管理ルール:屋外アクティビティエリア外では銃口を常に「真下または真上」に向け、トリガーに指をかけないでください。セーフティエリア内での空撃ち・作動確認・調整は一切禁止です(調整は必ず保護具着用の上フィールド内で行うこと)。

2. 法令遵守および施設・環境保護ルール

① 機材・威力の制限(法令遵守)

- 法定基準の厳守:発射威力は「0.98J 未満」を厳守してください。違反機材(準空気銃)を発覚した場合は警察へ通報します。
- 青少年参加時の制限:愛知県青少年保護育成条例に基づき、18 歳未満(高校生含む)が参加するゲームでは、全員の使用機材を「10 歳以上用対象玩具銃(0.135J 以下)」に限定します。(その他ナーフ等のトイガンは、各製品の対象年齢を遵守してご使用ください。)

- 弾速管理:持ち込み銃は無料貸出の弾速測定器を使用し、ゲーム開始前に各自で必ず計測を行ってください。

② BB 弾の銘柄制限

- 指定銘柄(通常弾):「G&G ARMAMENT 社製 生分解性(バイオ)BB 弾」に限ります。近隣農園への配慮および運営上の都合により、当施設では一社指定とさせていただきます。指定外 BB 弾の使用発覚時は、農園への賠償金および清掃費として、損害金10万円(または原状回復実費総額)を直ちに申し受けます。
- 蓄光弾の特例:蓄光弾使用時に限り、メーカーを問わず「生分解性(バイオ)BB 弾」であれば使用可能とします。(※なお、プラスチック製・セミバイオ製の蓄光弾は禁止します)。

③ 持ち込み物品制限

当施設では、参加者の安全確保、近隣環境への配慮、およびプライバシー保護のため、以下の通り機材および持ち込み物品の制限を定めます。

- パワースource(ガス・バッテリー):
 - (1)フロンガス:国内メーカー製エアガン専用ガスのみ使用可能です(海外製高圧ガス等は使用禁止)。
 - (2)CO2 ガス:STGA または JASG の認がある機材および指定ボンベに限り使用可能です。
 - (3)バッテリー:一般的なエアガン用バッテリー(Li-Po、Ni-MH 等)が使用可能です。
- 光量・レーザー機器の制限:高出力ライト(ストロボ機能含む)およびレーザーサイトの使用は禁止します。失明事故や怪我を防ぐため、レーザーサイトを装着している場合は事前に通電遮断(電池を抜く等)を行ってください。
- 危険物・凶器の持ち込み禁止:刃物、鈍器、爆発物、スタンガン等の危険物の持ち込みは一律禁止します。
- 音・騒音機器の制限:周辺環境への騒音防止の観点から、モスカート、サウンドグレネード等の物理的な衝撃音・大音量を伴う機材、および音出しのみを目的とした機材の持ち込み・使用は禁止します。
- 撮影機器・プライバシー保護:赤外線撮影機器、改造カメラ等、他者のプライバシーを侵害する恐れのある機材の使用は禁止します。
- 持ち込み物品のグループ内合意:上記禁止事項に抵触しない物品(特殊な装備やアクセサリ等)であっても、使用する際はトラブル防止のため必ずグループ(団体)内全員の了承を得てからご使用ください。

④ 移動制限(転倒・転落の防止)

- 走行禁止:起伏や障害物でのつまずき、激突による骨折等の重大事故の防止や、設備の破損防止のため、フィールド内での「走る行為」は一切禁止です(ステップのみ可)。常に足元を確認できる速度で歩いて移動してください。

⑤ 射撃姿勢および施設保護(設備破損・飛散防止)

- 伏せ撃ち(寝そべり射撃)の禁止:地面にうつ伏せになり寝そべった姿勢での射撃は禁止です(立射・膝立ちまで)。下からの仰角射撃は跳弾が天井の照明機器を破壊しガラス片が落下する危険があるほか、相手のゴーグル隙間から弾が入り失明を招くためです。
- ブラインドショットの禁止:遮蔽物から銃だけを出して撃つ行為は禁止です。至近距離の相手や退場中のプレイヤーへの誤射を防ぐため、必ず目視確認して射撃してください。
- フルオート制限:グループ内に「レンタル銃利用者が1名でも含まれる場合」は、機材保護のため一律「セミオート(単発)のみ」とします。(※全員持込かつ全員合意時のみフルオート可)。

⑥ 機材運用・身体的接触および施設保護のルール

- 銃(エアガン)の取り扱い:本来の用法・用途に従って正しく使用してください。不適切な使用方法や、本来の設計目的を逸脱した危険な操作は禁止します。
- 暴力的な接触の禁止:他のプレイヤーを突き飛ばす、格闘動作、銃を奪い合う等の身体的・暴力的な接触行為は禁止します。
- 特殊ルール(ナイフアタック等):材質が危害を与えないもの(ラバー・スポンジ製等)であり、かつ団体内で全員の了承を得たルールに基づいてのみ運用可能です。フリーズコール等についても同様に、グループ内の事前合意を必須とします。
- 障害物の移動・接触禁止:施設内の備品、障害物、設備等を勝手に動かす、操作する、あるいは破壊する行為は禁止します。
- 汚損の禁止:その他、施設を破損・汚損する恐れのある物品の使用を禁止します。
- 破損・汚損時の申告:万が一、施設や備品、レンタル品等を破損・汚損した場合は、理由を問わず直ちにスタッフへ申告してください。